

公益財団法人
精密測定技術振興財団

The Precise Measurement Technology Promotion Foundation

財団案内

公益財団法人 精密測定技術振興財団

〒180-0023 東京都武蔵野市境南町三丁目1番6号-203
TEL : 0422-33-2626 URL : <https://www.pmtf-f.or.jp/>
FAX : 0422-33-2626 E-mail : contact@pmtf-f.or.jp



ご挨拶

公益財団法人 精密測定技術振興財団
理事長 矢野 信太郎



「測定を通じて未来を切り拓く。これからも」

当財団は東京都知事の設立許可を得て、1985年4月1日に設立され、精密測定技術の振興に尽力してきました。2012年に公益財団法人へと移行し、さらなる活動を開始しました。精密測定技術は、日本が技術立国としての地位を築く中で、技術革新を支える重要な役割を果たしてきました。「測定できないものは作れない」という言葉は、この技術が産業発展に欠かせないことを示しています。特に現代では、精密測定技術の進化が産業界の高度化を支えています。

当財団は、優れた研究開発の助成を通じて、科学の進歩と国際貢献に寄与してきました。2023年度は54件のプロジェクトに対し、合計1億7,000万円の助成を実施し、精密工学分野の拡大と技術革新に貢献しました。これらの成果は、技術革新を促進するための基盤となっています。加えて、講演会及び研究会の開催に対する助成、国際交流等促進事業に対する助成も行っています。また、「精密工学会高城賞」と「精密測定技術振興財団品質工学賞」を通じて、精密工学分野の発展に貢献してきました。

2025年4月に設立40周年を迎えるにあたり、新たな研究助成枠を設け、活動の拡充を目指します。2024年3月14日には、精密工学会春季大会の最終日に記念講演会と贈賞式を実施しました。当財団の運営は、発起人の寄付に支えられ、理事や評議員は精密工学分野の研究者や関係者が務めています。産官学の連携を深め、精密測定技術の振興を推進してきました。

今後も、精密測定技術の研究支援を続け、産業界の高精度化要求に応えるための技術革新に努めます。これらの活動は、日本の科学技術リーダーシップを強化し、産業の持続可能な発展に貢献します。当財団は、研究開発を助成し、科学の進歩と国際貢献に寄与することを目的として設立されました。これらの取り組みを通じて、精密測定機器及び関連する精密工学分野の発展に貢献していきます。

財団概要

名称

公益財団法人 精密測定技術振興財団

設立許可

1985(昭和60)年4月1日

移行登記

2012(平成24)年4月1日

行政庁

東京都(東京都知事)

設立の目的

我が国の技術革新に伴う電子、精密機械等の高付加価値の加工、組立型産業に対する期待は極めて高いものがある。そうした中での高精度化への強い要求に対応して、高精度部品の製作、組立作業等に欠かせないのが精密測定技術である。さらにすべての装置類が省力化、自動化、無人化に進んでいく中でその高信頼性への要求を満たす品質を保証するためには、各部品、ユニットの寸法、形状等の精密な測定チェックが必要である。しかしながら、これを支える技術基盤はその絶対必要量が少ないこともあり、電氣的、機械的、光学的、流体的等の精密測定に関して各種技術の総合化に欠けるところがなきにしもあらずという状態である。

上記を受け、精密測定技術の振興に関する調査・研究、講演会・研究会等への助成及び国際的な技術交流活動等への助成を行うことにより、精密測定技術の振興を図り、もって科学技術及び産業の向上発展に寄与することを目的とする。

所在地

〒180-0023

東京都武蔵野市境南町三丁目1番6号-203

TEL：0422-33-2626

FAX：0422-33-2626

URL：https://www.pmtmp-f.or.jp/

E-mail：contact@pmtmp-f.or.jp

基本財産

59億7,883万円：2023(令和5)年3月末

(株)東京精密株式 1,058,700株含む

助成事業

東京都における精密測定技術の振興を図り、もって科学技術及び産業の向上発展に寄与する目的を達成するため、「精密測定技術の分野及びその周辺技術に関するテーマ」について助成を行う。

助成の対象

区分(1)調査・研究事業に対する助成

東京都に本部のある大学・公的研究機関等に所属する研究者が行う、精密測定技術の分野及びその周辺技術についての研究計画の遂行・研究成果のとりまとめに必要な経費を助成する。

区分(2)講演会及び研究会の開催に対する助成(国際会議・シンポジウム・Web会議含む)

東京都に本部のある大学・公的研究機関等に所属する研究者が主催する講演会・研究会の開催に必要な経費を助成する。

区分(3)国際交流等促進事業に対する助成

A 国際会議参加

東京都に本部のある大学・公的研究機関等に所属する研究者が、国内外で開催される精密測定技術の国際会議(Web会議含む)やシンポジウム等へ参加するために必要な経費を助成する。

B 外国人研究者招聘

東京都に本部のある大学・公的研究機関等に所属する研究者が、海外からの研究者を、国内で開催される講演会に講演者として招聘するため(Web会議含む)に必要な経費を助成する。

区分(4)表彰事業に対する助成

精密測定技術の向上、振興に寄与した技術者への表彰に必要な経費を助成する。

財団発足からのあゆみ ダイジェスト 1985～2023



発足会
(1985年4月2日／ホテルグランドパレス)



計測シリーズ 97分冊
1.『ブロックゲージ』



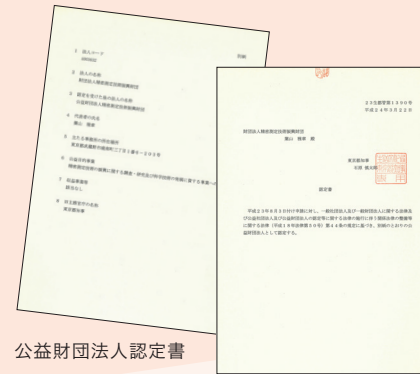
精密測定技術振興財団高城賞第1回 高城賞盾
贈賞式(1990年9月29日／北海道大学)



高城賞メダル



精密工学会高城賞第1回(通算第9回)贈賞式(1998年9月24日／北海道大学)



公益財団法人認定書



3代目理事長: 矢野信太郎

3月 高城誠氏、矢野良次郎・静江氏、葉山雅章氏の3家から現金及び(株)東京精密の株券の拠出

4月 財団法人 精密測定技術振興財団、発足

5月 計測シリーズ 97分冊の発行を開始
1.『ブロックゲージ』、2.『ダイヤルゲージ』

9月 精密測定技術振興財団高城賞の創設と第1回贈賞式

10月 精密工学会高城賞に変更、第1回(通算第9回)贈賞式

4月 『五カ国語 測定技術用語辞典』を日刊工業新聞社から刊行

4月 公益法人への移行準備のため、「企画・予算」「助成金審査」「ホームページ」「高城賞・品質工学賞」各専門委員会の立ち上げ

9月 ホームページ開設・助成事業の公募開始

1985
(昭和60)

1990
(平成2)

1998
(平成10)

2002
(平成14)

2007
(平成19)

2009
(平成21)

2012
(平成24)

2014
(平成26)

2018
(平成30)

2023
(令和5)

1988
(昭和63)

1993
(平成5)

1999
(平成11)

2006
(平成18)

2008
(平成20)

2011
(平成23)

2013
(平成25)

2015
(平成27)

2022
(令和4)

5月 『五カ国語 測定技術用語辞典』の編集作成開始

11月 ホテルグランドパレス(九段下)にて第1回編集委員会開催

9月 精密測定技術振興財団品質工学賞第1回贈賞式

4月 理事長交代。伊藤清理事長から葉山雅章理事長へ

4月 『財団法人精密測定技術振興財団20年史』を日刊工業出版プロダクションから発行

8月 公益財団法人への移行認定申請

1月 三鷹商工会講演会開催

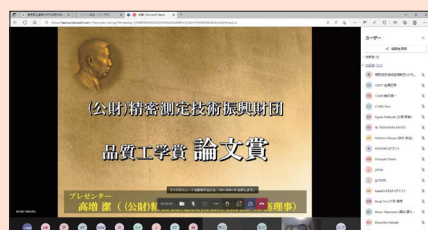
10月 大学等の助成金窓口にも公募案内を開始

8月 第1回立入検査

10月 応募者増加につなげるため、科研費公募締切の後に財団公募締切を設定



品質工学賞贈賞式(2014年6月27日)



品質工学賞オンライン贈賞式(2022年6月24日)



品質工学賞贈賞式(2023年6月30日)



品質工学賞トロフィー



『五カ国語 測定技術用語辞典』



初代理事長: 伊藤清



2代目理事長: 葉山雅章



『財団法人精密測定技術振興財団20年史』



三鷹商工会講演会／花房先生(2020年2月12日)



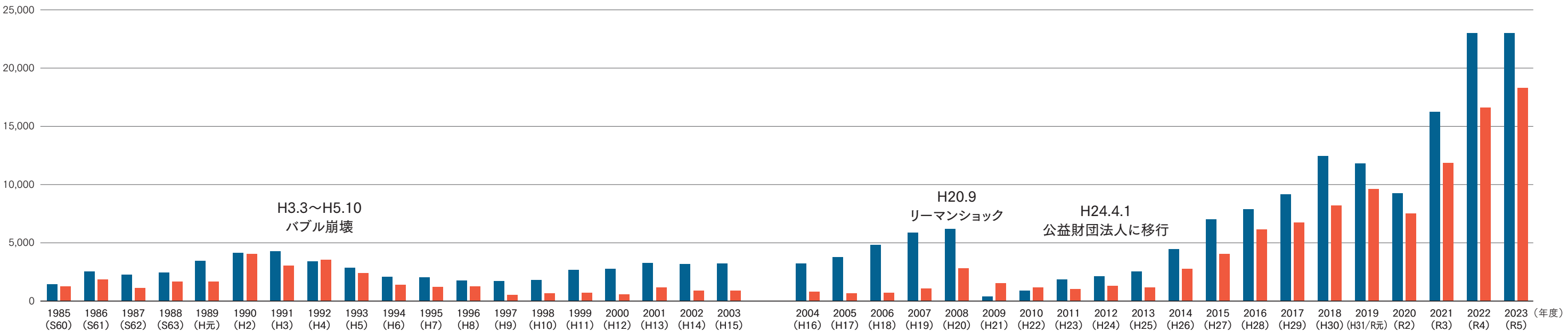
武蔵野商工会議所講演会／長井先生(2020年10月6日)



三鷹商工会講演会／青山先生(2023年2月3日)

総収入・助成額の推移

単位：万円



助成額区分別総額

2012(平成24)年度(公益法人移行後)～2023(令和5)年度

	区分(1)調査・研究	区分(2)講演会	区分(3)国際交流等	区分(4)表彰事業
総額(万円)	85,774	3,786	3,637	1,215
件数	407	77	141	24

区分(1)調査・研究事業に対する助成：機関別助成額累計

2012(平成24)年度(公益法人移行後)～2023(令和5)年度

順位	所属	助成金額(万円)	件数
1	東京大学	20,953	93
2	東京工業大学	9,300	44
3	産業技術総合研究所	8,765	38
4	東京農工大学	5,545	27
5	芝浦工業大学	3,860	24
6	慶應義塾大学	3,300	13
7	東京理科大学	3,150	15
8	東京電機大学	2,927	17
9	早稲田大学	2,920	14
10	東京都立大学	2,845	14

11位以下

電気通信大学、東京工業高等専門学校、東京都市大学、お茶の水女子大学、工学院大学、中央大学、東京医科歯科大学、東洋大学、産業技術高等専門学校、東京薬科大学、日本大学、東京女子医科大学、東京工科大学、東京都立産業技術研究センター、上智大学、法政大学、群馬工業高等専門学校、東邦大学、青山学院大学、明星大学、長野工業高等専門学校、東京海洋大学、東京歯科大学、佐世保工業高等専門学校、順天堂大学、宇宙航空研究開発機構、木更津工業高等専門学校、学習院大学、拓殖大学、杏林大学、有明工業高等専門学校、国立がん研究センター、東京都健康長寿医療センター研究所、立教大学、産業能率大学、海上・港湾・航空技術研究所、サレジオ工業高等専門学校、東京医療保健大学、北里大学

区分(2)講演会及び研究会の開催に対する助成

2012(平成24)年度(公益法人移行後)～2023(令和5)年度

- 精密工学会共催 講習会：通算12回
- 武蔵野商工会議所 講演会：通算12回
- 三鷹商工会 講演会：通算7回
- 国際会議・研究会の開催：通算46件（最近の助成例）
 - ▶ 19th International Conference on Precision Engineering (ICPE2022), 奈良県コンベンションセンター, 奈良県
 - ▶ IFAC World Congress 2023 (IFAC WC2023), パシフィコ横浜, 神奈川県
 - ▶ Leading Edge Manufacturing in 21st Century (LEM21), オンライン開催
 - ▶ The 11th Asian Pacific Conference on Medical and Biological Engineering (APCMBE2020), オンライン開催
 - ▶ 8th International Conference of Asian Society for Precision Engineering and Nanotechnology (ASPEN2019), くにびきメッセ, 島根県
 - ▶ The 14th International Symposium on Measurement Technology and Intelligent Instruments (ISMTII2019), 朱鷺メッセ, 新潟県
 - ▶ 68th General Assembly CIRP (CIRP2018), 京王プラザホテル, 東京都
 - ▶ Asian Conference on Design and Digital Engineering 2015 (ACDDE2015), 北九州市国際会議場, 福岡県

区分(3)国際交流等促進事業に対する助成

2012(平成24)年度(公益法人移行後)～2023(令和5)年度

- A 国際会議参加 通算128件（最近の助成例）
 - ▶ The 9th International Conference of ASPEN (ASPEN2022), シンガポール
 - ▶ 2022 IEEE International Ultrasonics Symposium (IUS2022), ヴェネツィア, イタリア
 - ▶ Computer Assisted Radiology and Surgery (CARS2021), オンライン開催
 - ▶ 28th Anniversary World Congress on Biosensor (Biosensors2018), フロリダ, 米国
- B 外国人研究者招聘 通算13件（最近の助成例）
 - ▶ University of Cincinnati 准教授招聘
 - ▶ Xi'an Jiaotong University 教授招聘
 - ▶ NIH (National Institutes of Health) 博士招聘
 - ▶ Ohio State University 教授招聘

区分(4)表彰事業に対する助成

2012(平成24)年度(公益法人移行後)～2023(令和5)年度

- 精密工学会高城賞：通算12回
- 精密測定技術振興財団品質工学賞：通算12回